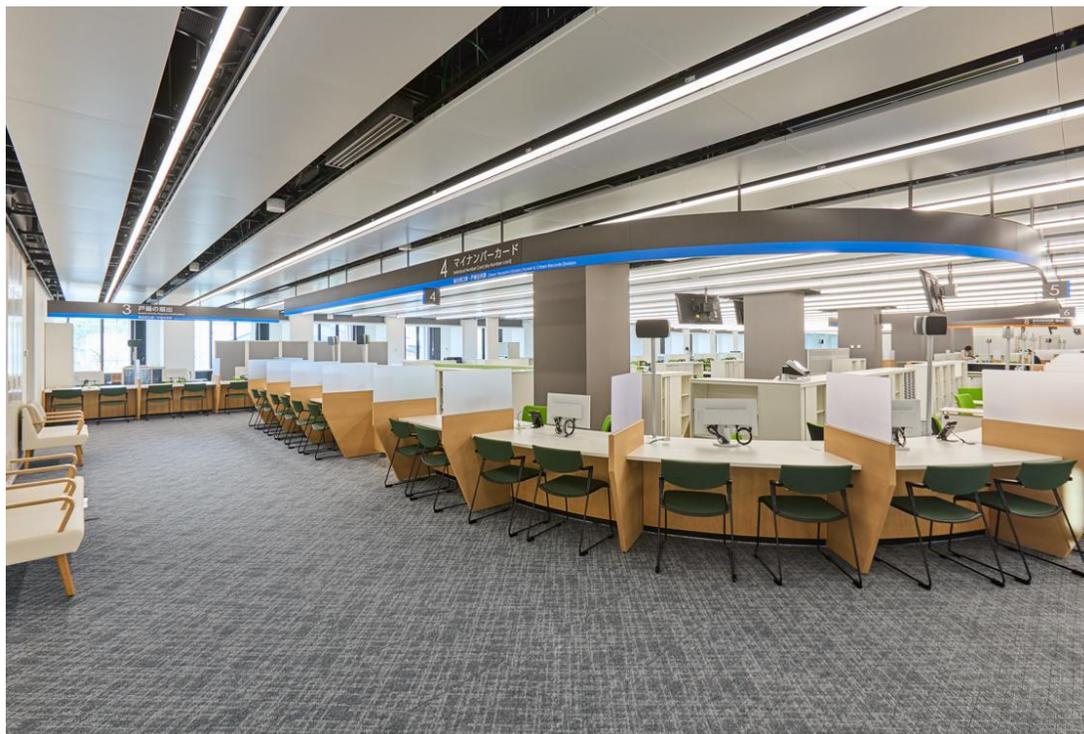


来庁者、働く人、みんなにやさしい、快適な環境が整う新庁舎



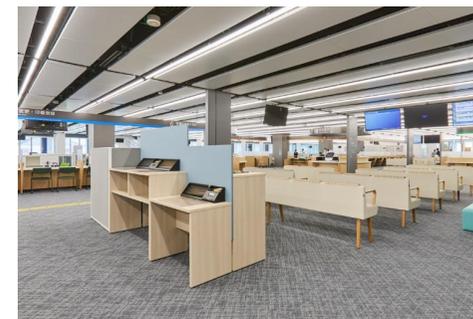
## 窓口カウンター(建築工事)

市産材を利用し地域産材の活用を推進。ローカウンターにはプライバシーに配慮したセグメントパネルを整備。



## 総合案内(建築工事)

来庁者の3方向からの動線が交差する位置に配置され、ハイ・ローの両仕様を兼ね備えている総合案内。



## 記載台

車椅子利用者も利用しやすいロータイプの記載台を配置。

令和 7 年 3 月現在

## プロジェクトの詳細

開庁	: 令和7年5月7日
人口	: 約188,400人
対象人員	: 1030人
延べ床面積	: 24,129.11㎡
建物概要	: 鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 地上6階 地下1階
委託業務	: 令和7年移転支援業務委託



オカムラHPでも  
ご覧いただけます

令和7年5月、山口市は市民サービス拠点となる新本庁舎棟を開庁しました。この新庁舎は、分散していた環境・教育・消防などの部局を集約し、利便性の高い市民サービスを拡充しています。また、ユニバーサルデザインの採用や省エネルギー化により、誰もが使いやすく、地域の脱炭素にも貢献する庁舎を実現しています。

行政サービスの面では、1・2Fに市民利用の多い窓口を配置し、引っ越しなどの手続きがワンストップで対応できる「書かない」「待たない」窓口サービスを開始しました。

環境にやさしい庁舎としては、一次エネルギー消費量を50%以上削減するZEB Readyを達成し、天井放射空調を採用することで、温度ムラの無い快適な空間を実現しています。

職員の執務スペースでは、課ごとに仕切りのないオープンフロアを採用し、役職者のひな壇席を廃止しました。また、什器モジュールや仕様を統一したユニバーサルレイアウトを導入することで、将来的な変化に柔軟に対応可能な設計となっています。これにより、スペースの有効活用や人事異動時のランニングコストの低減を実現しています。

さらに、この新庁舎は、今後第2期工事で整備される市民交流棟、広場、新立体駐車場とともに、ひと・まち・未来にやさしい庁舎として整備が進んでいきます。これらの一体の整備により、単に庁舎としての利用にとどまらず、まちのにぎわいや市民の交流、周辺の自然環境や文化施設との共生・調和を図り、市民が心地よく集い、憩える空間や景観を創出してまいります。



### 相談ブース

3・4階のカウンターラインに、ソファープースを配置。背面パネルを設置することで、周囲の視線を遮り、利用者のプライバシーにも配慮した窓口対応が可能。



### 待合椅子

張材は、耐アルコール・耐次亜塩素酸ナトリウム仕様としメンテナンス性に配慮。また、高齢者の方が立ち上がりしやすい座高の高い仕様を部分配置。



### 待合スペース

ゆとりのある待合スペースに、窓口カウンターと正対しないレイアウトで待合椅子を配置。



### キッズコーナー

市民利用の多い、1・2階フロアにキッズコーナーを配置。お子様を遊ばせながら、待合時間などを過ごすことができる。



### 執務室

役職者のひな壇席を廃止し、ユニバーサルレイアウトにすることで、スペースの有効活用や人事異動の際のランニングコスト低減に繋げる。



### 1・2階執務室

W1200D600の机上スペースにA4・2段+ペントレー付きのワゴン、メッシュ仕様の肘付き椅子・ハンガー付きを採用。



### 上層階執務室

課長席を含めたグループアドレス運用を導入。W1200D600の机上スペース、モバイルロッカー、メッシュ仕様の肘付き椅子・ハンガー付きを採用。



### モバイルロッカー

グループアドレス運用の上層階フロアに配置。配布物の投函口や、PC充電用の電源供給、管理者の負担を軽減するダイヤル錠仕様など、運用面に配慮した仕様を採用。



### ABWゾーン

執務室の窓側に設けられた、職員のワークスペース。窓側カウンターはソロワーク、テーブル席は、協議や作業スペースとしても活用。



### 集中ブース

吸音効果のあるパネルを採用した個別ブース。ソロワークの集中作業や、WEB会議などに活用。



### 更衣・休憩室

各フロアに男女に分かれ整備されているスペース。昼食時の利用だけでなくリフレッシュスペースとしても活用。



### 会議室

用途に合わせて、AV機器なども整備した各種会議室。キャスター付き家具を採用し、フレキシブルな運用が可能に。